

海賊問題の現状 (2017)

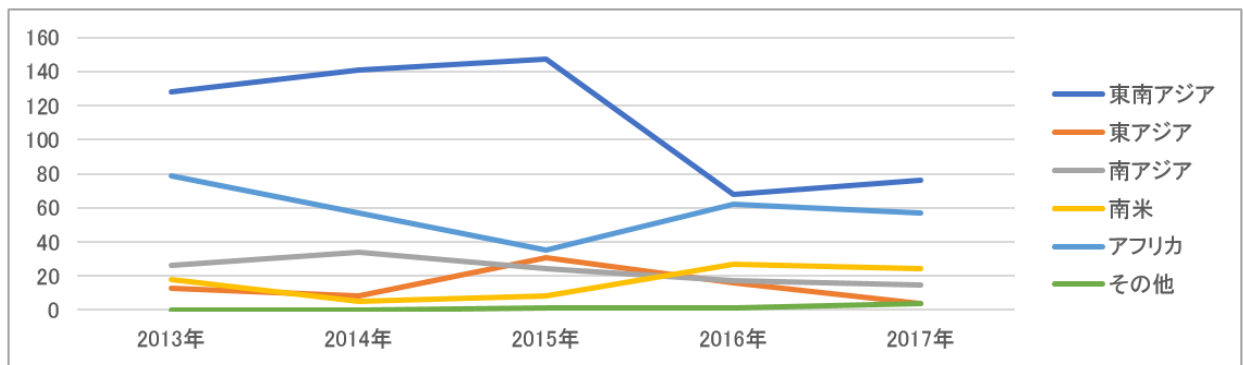
今回の Topics では、国際商業会議所(ICC)の国際海事局(IMB)が発行した海賊問題に関する「2017 Annual Report」¹をもとに、世界の海賊問題の現状をご紹介します。

1 海賊事件の発生件数

2017年1月1日～12月31日の1年間で、全世界で合計180件の海賊および武装盗難事件(未遂も含む)がIMB海賊通報センター(PRC)に報告されています。海賊件数は年々減少傾向にあり、この180件は1995年以来最も少ない水準となっています。180件の各分類による内訳と過去5年間の推移は以下の通りです。

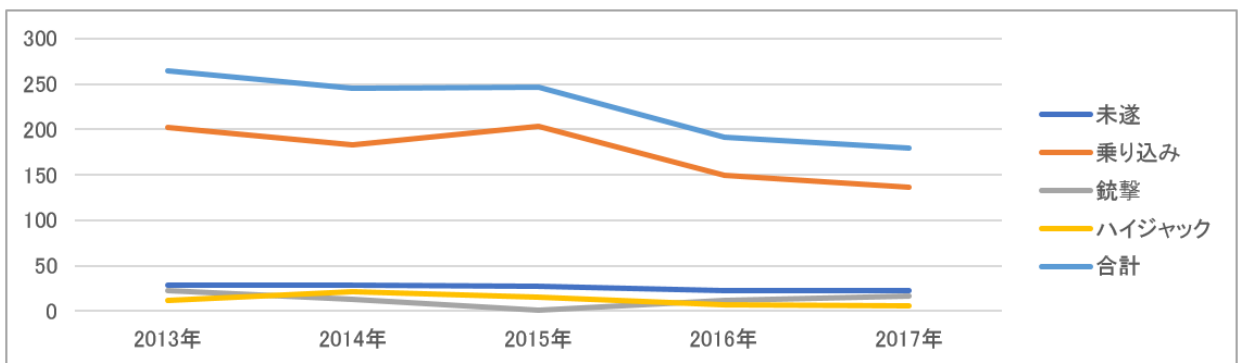
(1) 発生地域別 (単位: 件)

	東南アジア	東アジア	南アジア	南米	アフリカ	その他	合計
2013年	128	13	26	18	79	0	264
2014年	141	8	34	5	57	0	245
2015年	147	31	24	8	35	1	246
2016年	68	16	17	27	62	1	191
2017年	76	4	15	24	57	4	180



(2) 攻撃態様別 (単位: 件)

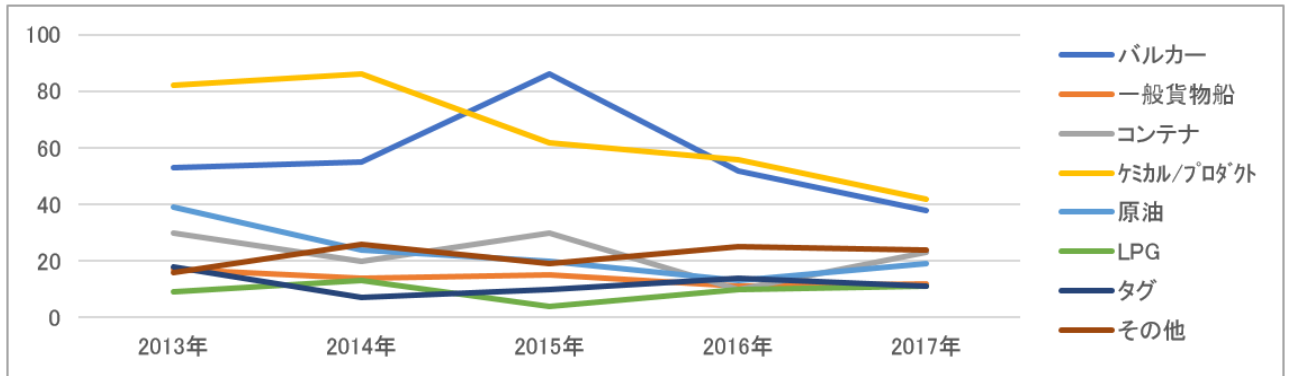
	未遂	乗り込み	銃撃	ハイジャック	合計
2013年	28	202	22	12	264
2014年	28	183	13	21	245
2015年	27	203	1	15	246
2016年	22	150	12	7	191
2017年	22	136	16	6	180



¹ “ICC IMB Piracy and Armed Robbery Against Ships – 2017 Annual Report”
(<https://icc-ccs.org/index.php/piracy-reporting-centre/request-piracy-report> に本レポートの入手方法が掲載されています。)

(3) 船種別 (単位: 件)

	バルカー	一般貨物船	コンテナ	ケミカル/プロダクト	原油	LPG	タグ	その他
2013年	53	17	30	82	39	9	18	16
2014年	55	14	20	86	24	13	7	26
2015年	86	15	30	62	20	4	10	19
2016年	52	11	10	56	13	10	14	25
2017年	38	12	23	42	19	11	11	24

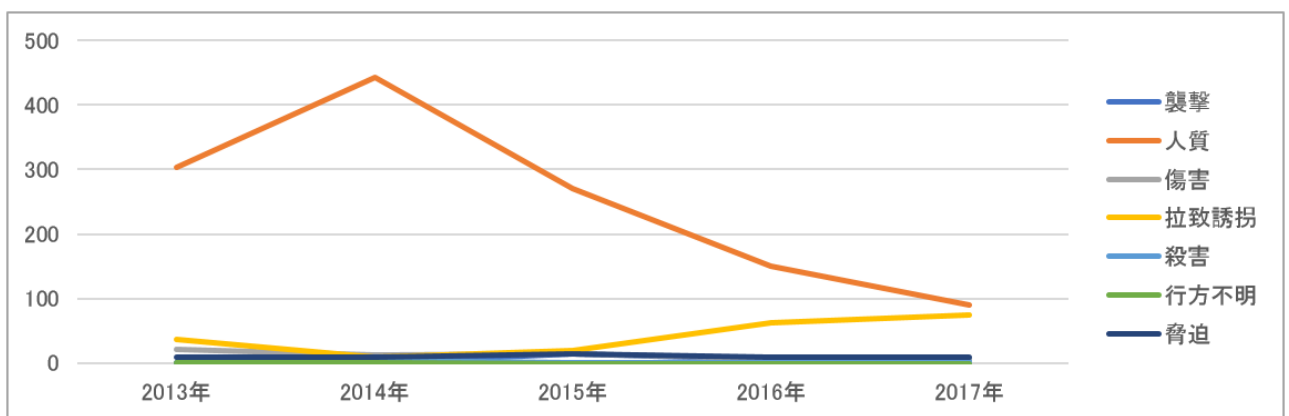


2 乗組員の被害状況

2017年に人質となった乗組員の人数は91名と大幅に減少しました。一方で、昨年より増加している拉致・誘拐された乗組員の人数は2017年も75名と増加傾向にあります。

(1) 暴力の態様別 (単位: 人数)

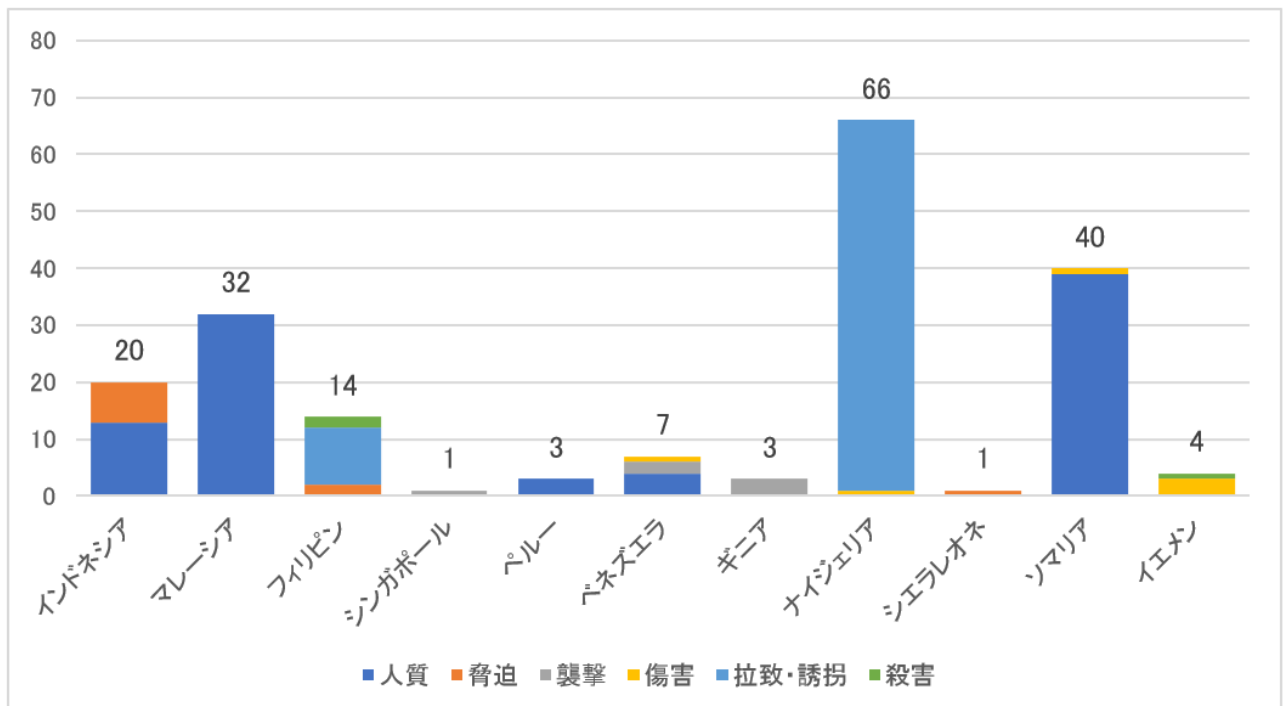
	襲撃	人質 ²	傷害	拉致誘拐 ²	殺害	行方不明	脅迫	合計
2013年	0	304	21	36	1	1	10	373
2014年	1	442	13	9	4	1	9	479
2015年	14	271	14	19	1	0	14	333
2016年	5	151	8	62	0	0	10	236
2017年	6	91	6	75	3	0	10	191



² ここでは、「人質」(hostage)とは船舶内にて拘束されること、「拉致・誘拐」(kidnap/ransom)とは船舶から拉致され、陸上で拘束されることを意味しています。

(2) 国別分類 (2017年のみ。単位：人数)

	人質	脅迫	襲撃	傷害	拉致・誘拐	殺害	合計
インドネシア	13	7					20
マレーシア	32						32
フィリピン		2			10	2	14
シンガポール			1				1
ペルー	3						3
ベネズエラ	4		2	1			7
ギニア			3				3
ナイジェリア				1	65		66
シエラレオネ		1					1
ソマリア	39			1			40
イエメン				3		1	4
小計	91	10	6	6	75	3	191
合計	191						191



3 各地域の状況

(1) ギニア湾

ギニア湾では2017年は36件の海賊事案が発生しており、そのうちナイジェリア周辺の海域で発生した10件の誘拐事案では、65名の乗組員が被害に遭いました。また、全世界で報告された16件の銃撃のうち、7件がギニア湾で発生しており、依然として本海域の海賊危険の高さが伺えます。

(2) ソマリア

2017年ソマリアでは昨年より2件多い9件の事案が発生しています。

特筆すべき事案として、11月にモガディシュから東に約280海里離れた海域でコンテナ船が武装した海賊に襲撃されました。本船の回避操縦により海賊の乗り込みは防ぐことができましたが、退散前にRPGロケット2発を発砲したとのことです(いずれも命中せず)。その後6人のソマリア海賊がEU海軍により拘束され、セーシェルに移送されました。彼らは「海賊行為」の罪で起訴され、有罪判決が下れば30年の禁固刑に処せ

られます。この事案から、ソマリア海賊は沿岸から数百海里離れた海域でも商船に対してロケットミサイルを発射できるほどの攻撃能力を有していることが改めて明らかになりました。

(3) 東南アジア

2017年にインドネシアで発生した海賊事案は、昨年の49件に比べ若干減少し、43件となりました。国が指定する10の安全錨泊地におけるインドネシア海上警察のパトロールが引き続き効果を示しています。

一方でフィリピンにおける海賊事案は、昨年(10件)の倍以上となる22件発生しています。これらの事案の多くは主にマニラ港とバタンガス港における錨泊中の船舶に対する比較的軽度な襲撃です。また、2017年の第一四半期に、フィリピンの南を航行中の船舶に海賊が乗り込み、乗組員が誘拐される事案が発生しましたが、IMB 海賊通報センター(PCR)による注意喚起情報の拡散により、それ以降の海賊の襲撃は回避できている模様です。

以上

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html

TOKIO MARINE Topics(船舶)

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/news/tokiomarine_topics/hull.html